

平成15年度 第2回役員会議事録抜粋

日時：平成15年8月25日（月）12:15～13:15

場所：実践女子大学 桜ホール

出席者：16名

議事

1. 報告事項

1) 各担当より

- ①企画：平成17年に開催予定の被服衛生学部会公開講座について、平成16年度文部科学省科学研究費補助金公開促進費に10月申請する予定。
- ②編集：部会報第23号を発刊。
- ③会計：平成14年度会費未納者14名に請求書を発送予定。平成13年度からの未納者は2名あり、3年未納の場合は退会扱いになるため、本人の意思確認をする。
- ④庶務：会員動向、現在名簿整備中。メールアドレスは必ず記入。
- ⑤第22回被服衛生学セミナー：参加者数約60名。
- ⑥第23回被服衛生学セミナー：実行委員長船津先生、福岡市、開催内容は検討中。
- ⑦ホームページ：予算は契約料15,000円、アルバイト作業料15,000円、計年間30,000円。
- ⑧部会規定の提出：日本家政学会本部に、部会規定を提出する。（締切りは10月末）

2. 審議事項

1) 会則の変更について

- ・金融機関より入出金の際、会則の中に部会の所在地を明記する必要があるとの指摘があり、部会則の付則8.として、「本部会の事務局を平成15年4月1日より平成17年3月31日まで、〒654-8585 神戸市須磨区東須磨青山2-1 神戸女子大学家政学部平田耕造研究室におく。」を付け加え、以後付則8,9を付則9,10と順送りし、付則11として、「この会則の一部改正は、平成15年8月25日より施行する。」の改訂案が提案され、承認。

2) 名誉会員について

- ・本年度名誉会員に推挙された3名の先生（中谷和先生、酒井清子先生、中橋美智子先生）を総会にて推挙することが提案され、承認。
- さらに「名誉会員之証」をセミナーの懇親会の際に授与し、欠席された先生方に、証書を郵送する。
- ・名誉会員の先生方の記事を部会報に掲載する件について提案があり、経歴、業績など顔写真入りで、ご本人にエッセー風にご寄稿いただく形とし、編集担当で検討する。

3) 賞の新設について

- ・功労賞の新設について提案があり、庶務、企画で、16年4月までに検討する。

4) シルバー会員について

- ・名誉会員や定年退職された先生方の部会費やセミナー参加費の減額等については、今後の検討課題とし、継続審議とする。

5) 公開講座について

- ・北陸を中心に、3月頃に多数参加しやすい時期を選定して計画し、11月頃までに家政学会あてに公開促進費の申請を行う。案内は各学校長宛、講習会・研修会の形で参加証を発行し、テーマは「衣と健康」、内容は新素材や高機能繊維、アレルギーなどとする。

平成15年度 臨時總會記録

日時：平成15年8月25日（月）13：30～13：50

場所：実践女子大学 本館441号室

出席者：56名

議事：

1. 報告事項

- 1) 被服衛生学部会公開講座：平成17年3月20日以降北陸で開催予定、平成16年度文部科学省科学研究費補助金公開促進費に申請予定。
- 2) 第23号部会報発刊。
- 3) 平成14年度会費未納者14名、13年度からの未納者2名に請求書を発送予定。
- 4) 名簿整備のため、名簿の訂正・確認。メールアドレスを必ず明記のこと。
- 5) 第22回被服衛生学セミナー報告：参加者数約60名。
- 6) ホームページ：契約料15,000円、アルバイト作業料15,000円、合計年間30,000円の予算で、ホームページを立ち上げた。

2. 審議事項

- 1) 部会規定の変更：金融機関での入出金などの手続き上、会則の中に部会の所在地を明記する必要があるため、付則8～11の改訂案が提案され、承認された。
- 2) 名誉会員：本年度名誉会員に推挙された3名の先生（中谷和先生、酒井清子先生、中橋美智子先生）に「名誉会員之証」の伝達式を行う旨、提案され、承認された。
- 3) 功労賞：企画・庶務で引き続き検討することが提案され、承認された。

以上
文責（小柴）

(報告事項)

1. 平成16年度科学研究費補助金研究成果公開促進費の申請を行い、採択された。

平成16年度科学研究費補助金研究成果公開講座(案)

公開講座名: 「衣服と健康の科学、最前線 ー衣服の働きと新素材の性質ー」

目的: 人間の健康と深い関わりをもつ衣服の重要性を、広く一般の人に啓蒙するとともに、この分野の研究に対する理解を深めていただくことを目的に、被服衛生学分野の最新の研究成果を公開する。

対象者: 一般社会人(中学校、高校生、中・高家庭科教員を含む)

開催日: 平成17年3月19日(土) 10時 ~16時

会場名: 富山県民会館(富山市新総曲輪4-18) JR富山駅より徒歩5分

プログラム:

- ①人の健康に影響を及ぼす衣服(その1.暑さ寒さから身を守る) 平田耕造(神戸女子大学)
- ②話題の新素材紹介 野尻智弘(富山県生活工学研究所)
- ③地球にやさしい新繊維を使った衣服の快適性 林千穂(長野県短大学)
- ④人にやさしい新加工を施した衣服の快適性 諸岡晴美(富山大学)
- ⑤新機能性素材で作る安全・安心な衣服・寝具 菅井清美(新潟県立新潟女子短大)
水野一枝(産業技術総合研究所)
- ⑥人の健康に影響を及ぼす衣服(その2.圧迫から身を守る) 田村照子(文化女子大学)
- ⑦最近の靴・靴下と健康 岩崎房子(文化女子大学)
中橋美幸(富山県生活工学研究所)
- ⑧最近の体型補整下着と健康 三野たまき(信州大学)
斉藤秀子(山梨県立女子短期大学)
- ⑨「衣服と健康・快適に関するワークショップ」
参加者と講師全員
ここでは、衣服内気候や衣服圧と種々の生理量を実際に測定し、衣服が人体に及ぼす影響を参加者自らが体験し、講師に質問する形式とする。